

### 不適切な伝達手段の例

- ・不適切な信号発光(形状、色)
- ・指差呼称、復誦などのしつけ不足
- ・一方的な伝達(多数のFAX送信など)

### 間違った指示の混入の例

- ・意図的な改ざん
- ・類似標識の混在
- ・類似伝達手段の混在

(5) 指示(口頭・電話・メール・FAXなど光、音、旗)

(A1) 指示が伝わらない(悪環境で障害/伝達手段故障/不適切な伝達手段)

(A2) 指示が遅れる

(A3) 間違った指示の混入

### 悪環境の例

発光を認識できない理由

- ・雪、雨、霧による視界不良
- ・逆光が強い
- ・線路が大きくカーブしている
- ・途中にトンネルがある
- ・途中に遮蔽物(木など)がある
- ・不適切な装備(サングラスなど)
- ・騒音で聞こえない

## 指示主体(人)

### (1) Not Providing (指示が出ない)

- (HC1) 指示が必要とっていない
- (HC2) 指示を知っていたが忘れる
- (HC3) 指示したつもり
- (HC4) 指示・フィードバックを見逃して操作をしない

### (2) Providing causes hazard (間違った指示、遅れた・早すぎる指示)

- (HC5) 指示内容を間違える
- (HC6) 思い出す・手間取って遅れる
- (HC7) 指示内容を勘違い(取り違える)
- (HC8) 違う相手に指示を出す
- (HC9) フィードバックを誤解して間違った操作を行う
- (HC10) 確認せずに見込みで指示を出す

## 被指示主体(人)

### (3) オMISSIONエラー

- (HP1) 指示が来たが受け取らない
- (HP2) 指示が来たがスキル不足で実施できない
- (HP3) 実行結果のフィードバックを忘れる

### (4) COMMISSIONエラー

- (HP4) 指示を誤解して実行する
- (HP5) 指示どおりの実行ができないまたは遅れる(不適切な環境、スキル不足、健康状態不良)
- (HP6) 思い出す・手間取って遅れる

(6) フィードバック(口頭・電話・メール・FAXなど)

(F1) フィードバックが伝わらない(悪環境で障害/伝達手段故障/不適切な伝達手段)

(F2) フィードバックの遅れ

(F3) 間違ったフィードバック

(F4) フィードバックでない